学校番号	１００７

令和３年度　福祉科

教科	福祉	科目	コミュニケーション技術	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	カウンセリング実習						
使用教科書	「コミュニケーション技術」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「カウンセリング実習」ではカウンセリングの基本となる「受容・共感・傾聴」を土台とし、高齢者や障がい者、子どもといった支援を必要とする方へよりよい支援が行えるよう具体的な事例をもとにカウンセリングやコミュニケーションの技術について学習していきます。職業として介護職につかない人にとっても今後の人生のなかで役立つ知識になるでしょう。エンカウンターワークやグループワーク発表を通じて自己理解や他者理解を深め、円滑なコミュニケーションための基本的態度を理解し、演習を通じて基礎的な技法を身に付けていきます。

２　学習の到達目標

カウンセリングの基本となる「受容・共感・傾聴」を土台とし、コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得し、介護福祉援助活動にて活用する能力と態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人間関係形成に必要なコミュニケーションに関心を持ち、コミュニケーションに関する基礎的な知識を習得し、介護及び支援を必要とする課題に主体的に取り組む態度を身につけている。	介護及び支援を必要とする課題に向けて思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	カウンセリングの技能及び、コミュニケーションやレクリエーションなど社会福祉に関する基礎的な技術を身につけ、福祉に関する諸活動において、その技術を適切に活用している。	現代社会における社会構造の変容や特色について理解し、カウンセリングの知識をふまえ、コミュニケーションに関する基礎的な知識を身につけるとともに、社会福祉の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク レポート	プリントの記述 発表 定期考査 レポート	プリントの記述 グループワーク 定期考査	学習状況の観察 プリントの記述 レポート 発表 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	コミュニケーションの意義と役割	・人間の理解と人間関係 ・コミュニケーションとは ・カウンセリングの技術 ・受容・傾聴・共感	○ ○	 ○	○ ○	○ ○	a:介護従事者として必要な基本的な人間の理解と人間関係について関心をもち、福祉について探求しようとしている。 b:自己の日常生活と人とのかかわり方を関連させながら思考を深め、適切な知識と援助方法について自分の言葉で表現している。 c:コミュニケーションついて事例学習を通じて援助の方法を学ぶ。また問題解決にむけて資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:カウンセリングの技術に必要な基礎的な知識を持ち、人間の欲求や命が尊ばれる社会づくりには社会福祉が欠かせないことを理解する。	学習状況の観察 プリント記述 グループワーク 発表 定期考査
2	コミュニケーションの基本技術	・対人援助におけるコミュニケーションの実際 ・アサーションについての基礎知識 ・アサーショントレーニングの活用 ・知的障がいのある人とのコミュニケーション	○	○	○	○	a:障がいのある人の気持ちや環境について関心をもち、対人援助における課題、障がい者とのコミュニケーション方法について探求しようとしている。 b: 障がい者に対する社会福祉サービスの現状と課題、支援の考え方や施策、障がい者の権利について思考を深め、知識と技術をもとに判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c:アサーション（さわやかな自己表現）について理解し、事例学習の場で活用している。グループのメンバーと協力して問題解決にむけて取り組む。 d:障がいの概念及び 障がい者福祉の理念をふまえ支援の在り方や現状や対応、障がい者の権利について理解している。	学習状況の観察 プリント記述 グループワーク 発表 定期考査

3	サービス利用者に応じたコミュニケーション	・高齢者とのコミュニケーション ・認知症の人とのコミュニケーション ・障がいとコミュニケーション ・子どもとのコミュニケーション ・アンガーマネジメント	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:高齢期の変化や機能低下について理解し、高齢者の気持ちや環境について関心をもち、高齢者とのコミュニケーションや支援の方法について探求しようとしている。 b: 認知症の人の心理的特徴を理解しパーソンセンターケアについて思考を深め、知識と技術をもとに判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c:基本的人権の尊重など障がいのある人や子どもと関わる基本姿勢を習得し障がいとコミュニケーションについて理解し、カウンセリングの技術を活用しコミュニケーションの技能を高めている。 d:身体障がいの概念及び 障がい者福祉の理念をふまえ支援の在り方や対応、身体障がい者の権利について理解している。	学習状況の観察 プリント記述 定期考査
4	介護におけるチームのコミュニケーション	・レクリエーションを活用した高齢者とのコミュニケーション ・介護におけるチームのコミュニケーション	○ ○	○	○ ○	○ ○	a: 高齢者の現状と課題について探求しようとしている。 b: 高齢期の問題や課題についてについて思考を深め、知識と技術を基に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 高齢期の問題と老化に関する様々な情報を収集し、グループ発表に向けて適切に活用している。また、グループのメンバーと協力して発表内容を考えることができる。 d: チームにおけるコミュニケーションの目的と重要性を理解する。またチームによるコミュニケーションのための具体方法について知識を持ちチームによるコミュニケーションがより良い支援に繋がることを理解する。	学習状況の観察 プリント記述 グループワーク 発表 定期考査

※表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。